



# Cisco Networking Service 拡張結果メッセージ

Cisco Networking Service 拡張結果メッセージ機能は、部分設定の完了後に Cisco Networking Service イベントバスに送信された Cisco Networking Service 結果メッセージに加えて、2 つめの Cisco Networking Service 結果メッセージをサブジェクト「cisco.cns.config.results」に送信します。

Cisco Networking Service 拡張結果メッセージには、送信された設定に関する全体的な情報と 1 行ごとの情報、および元のメッセージで要求されたアクションの結果が含まれます。

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [Cisco Networking Service 拡張結果メッセージについて, 2 ページ](#)
- [Cisco Networking Service 拡張結果メッセージの設定方法, 3 ページ](#)
- [Cisco Networking Service 拡張結果メッセージの設定例, 5 ページ](#)
- [その他の関連資料, 6 ページ](#)
- [Cisco Networking Service 拡張結果メッセージの機能情報, 6 ページ](#)

## 機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の警告および機能情報については、『[Bug Search Tool](#)』およびご使用のプラットフォームとソフトウェアリリースに対応したリリースノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

# Cisco Networking Service 拡張結果メッセージについて

## Cisco Networking Service 結果メッセージ

デバイスが部分設定を受信すると、設定の各行が受信された順に適用されます。設定のいずれかの行でシスコパーサーのエラーがあった場合、その時点までの設定はすべてデバイスに適用されますが、エラー後の設定は適用されません。エラーが発生した場合、設定が正しく完了するまで **cns config partial** コマンドが再試行されます。プルモードでは、エラーの発生後コマンドは再試行されません。デフォルトでは、**no-persist** キーワードが設定されていなければ、NVRAMがアップデートされます。

部分設定が完了すると、Cisco Networking Service イベントバスにメッセージが発行されます。Cisco Networking Service イベントバスは、次のいずれかのステータスメッセージを表示します。

- **cisco.mgmt.cns.config.complete** : Cisco Networking Service 設定エージェントは正常に部分設定を適用しました。
- **cisco.mgmt.cns.config.warning** : Cisco Networking Service 設定エージェントは、部分設定を完全に適用しましたが、セマンティックエラーが発生する可能性があります。
- **cisco.mgmt.cns.config.failure (CLI syntax)** : Cisco Networking Service 設定エージェントは、コマンドラインインターフェイス (CLI) の構文エラーを発見したため、部分設定を適用できませんでした。
- **cisco.mgmt.cns.config.failure (CLI semantic)** : Cisco Networking Service 設定エージェントは、CLI セマンティックエラーを発見したため、部分設定を適用できませんでした。

CNS 拡張結果メッセージ機能により、上記の該当するメッセージに加えて、2つめのメッセージがサブジェクト「**cisco.cns.config.results**」に送信されます。2つめのメッセージには、送信された設定に関する全体的な情報と1行ごとの情報、および元のメッセージで要求されたアクションの結果が含まれます。要求されたアクションが設定の適用であった場合、結果メッセージ内の情報はセマンティクスに関するものになります。要求されたアクションが構文チェックだけであった場合、結果メッセージ内の情報は構文に関するものになります。

# Cisco Networking Service 拡張結果メッセージの設定方法

## Cisco Networking Service イベント エージェントおよび EXEC エージェントの設定

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **cns config partial** *{host-name | ip-address}* [**encrypt**] [*port-number*] [**source interface name**] [**inventory**]
4. **logging cns-events** [*severity-level*]
5. **cns exec** [**encrypt**] [*port-number*] [**source** *{ip-address | interface-type-number}*]
6. **cns event** *{hostname | ip-address}* [**encrypt**] [*port-number*] [**backup**] [**failover-time seconds**] [**keepalive seconds retry-count**] [**source ip-address | interface-name**][**clock-timeout time**] [**reconnect-time time**]
7. **exit**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b>  例： Device> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>configure terminal</b>  例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>cns config partial</b> <i>{host-name   ip-address}</i> [ <b>encrypt</b> ] [ <i>port-number</i> ] [ <b>source interface name</b> ] [ <b>inventory</b> ]  例： Device(config)# cns config partial 172.28.129.22 80	（任意）Cisco Networking Service 設定エージェントを起動します。これにより、シスコクライアントに Cisco Networking Service 設定サービスが提供され、差分（部分）設定が開始されます。  • コンフィギュレーション サーバのポート番号を指定するには、オプションの <i>port-number</i> 引数を使用します。デフォルトは 80 です。  • Cisco Networking Service 設定エージェントの通信の送信元として IP アドレスを使用するように指定するには、オプションの <b>source</b> キーワードと <i>ip-address</i> 引数を使用します。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• HTTP 要求の一部として Cisco Networking Service 設定エンジンにデバイスのラインカードとモジュールのインベントリを送信するには、オプションの <b>inventory</b> キーワードを使用します。</li> </ul> <p>(注) SSL をサポートするイメージに限り、オプションの <b>encrypt</b> キーワードを使用できます。</p>
ステップ 4	<b>logging cns-events</b> <i>[severity-level]</i>  例 :  <pre>Device(config)# logging cns-events 2</pre>	<p>(任意) XML フォーマットのシステム イベント メッセージ ログを Cisco Networking Service イベント バスを介して送信できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• メッセージをログに記録する重大度の番号または名前を指定するには、オプションの <i>severity-level</i> 引数を使用します。デフォルトはレベル 7 (デバッグ) です。</li> </ul>
ステップ 5	<b>cns exec [encrypt] [port-number]</b> <b>[source {ip-address   interface-type-number}]</b>  例 :  <pre>Device(config)# cns exec source 172.17.2.2</pre>	<p>(任意) Cisco Networking Service EXEC エージェントをイネーブルにし、設定します。これにより、シスコクライアントに Cisco Networking Service EXEC サービスが提供されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• EXEC サーバのポート番号を指定するには、オプションの <i>port-number</i> 引数を使用します。デフォルトは 80 です。</li> <li>• Cisco Networking Service EXEC エージェントの通信の送信元として IP アドレスを使用するように設定するには、オプションの <b>source</b> キーワードと <i>ip-address/interface-type number</i> 引数を使用します。</li> </ul> <p>(注) SSL をサポートするイメージに限り、オプションの <b>encrypt</b> キーワードを使用できます。</p>
ステップ 6	<b>cns event {hostname   ip-address}</b> <b>[encrypt] [port-number] [backup]</b> <b>[failover-time seconds]</b> <b>[keepalive seconds retry-count]</b> <b>[source ip-address   interface-name][clock-timeout time] [reconnect-time time]</b>  例 :  <pre>Device(config)# cns event 172.28.129.22 source 172.22.2.1</pre>	<p>シスコクライアントに Cisco Networking Service イベント サービスを提供する Cisco Networking Service イベント ゲートウェイを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SSL をサポートするイメージに限り、オプションの <b>encrypt</b> キーワードを使用できます。</li> <li>• イベント サーバのポート番号を指定するには、オプションの <i>port-number</i> 引数を使用します。デフォルトは、11011 (暗号化なし) および 11012 (暗号化あり) です。</li> <li>• このゲートウェイがバックアップ ゲートウェイであることを示すには、オプションの <b>backup</b> キーワードを使用します。バックアップ ゲートウェイを設定する前に、プライマリ ゲートウェイが設定されていることを確認します。</li> <li>• バックアップ ゲートウェイへのルートが確立された後、プライマリ ゲートウェイのルートを待機する時間間隔 (秒) を指定するには、オプションの <b>failover-time</b> キーワードと <i>seconds</i> 引数を使用します。</li> </ul>

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> <li>キープアライブ タイムアウト (秒) および再試行回数を指定するには、オプションの <b>keepalive</b> キーワードと <i>seconds</i> および <i>retry-count</i> 引数を使用します。</li> <li>Cisco Networking Service イベント エージェントの通信の送信元として IP アドレスを使用するように指定するには、オプションの <b>source</b> キーワードと <i>ip-address/interface-name</i> 引数を使用します。</li> <li>正確なクロックを必要とする転送 (SSL など) にクロックが設定されるのを Cisco Networking Service イベント エージェントが待機する最大時間 (分) を指定するには、オプションの <b>clock-timeout</b> キーワードを使用します。</li> <li>最大再試行タイムアウトの設定可能な上限を指定するには、オプションの <b>reconnect-time</b> キーワードを使用します。</li> </ul> <p>(注) <b>cns event</b> コマンドを入力するまで、Cisco Networking Service イベントバスへの転送接続は確立しません。そのため、その他の Cisco Networking Service エージェントは稼働しません。</p>
ステップ 7	<b>exit</b>  例 :  Device (config) # exit	グローバル コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

#### トラブルシューティングのヒント

- Cisco Networking Service イベント エージェントが Cisco Networking Service イベント ゲートウェイに接続されていることを確認するには、**show cns event connections** コマンドを使用します。
- イメージ エージェントのサブジェクト名が登録されていることを確認するには、**show cns event subject** コマンドを使用します。Cisco Networking Service イメージ エージェントのサブジェクト名は `cisco.mgmt.cns.image` で始まります。

## Cisco Networking Service 拡張結果メッセージの設定例

### 例 : 部分設定の設定

差分 (部分) 設定を使用すると、リモートデバイスを初期設定後、差分的に設定できます。この設定は、Cisco Networking Service 設定エンジンを介して手動で行う必要があります。レジストラ

を使用すると、設定テンプレートの変更、パラメータの編集、およびデバイスへの新規設定サブミットを、ソフトウェアやハードウェアを再起動せずに実行できます。

次に、リモートデバイス上の差分（部分）設定例を示します。Cisco Networking Service 設定エンジンの IP アドレスは 172.28.129.22、ポート番号は 80 です。

```
cns config partial 172.28.129.22 80
```

## その他の関連資料

### 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS コマンド	『Cisco IOS Master Commands List, All Releases』
Cisco Networking Service コマンド：コマンド構文の詳細、コマンドモード、コマンド履歴、デフォルト設定、使用上の注意事項、および例	『Cisco IOS Cisco Networking Services Command Reference』
Cisco Networking Service 設定エンジン（CE）	『Cisco CNS Configuration Engine Administrator Guide, 1.3』

### シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのサポートおよびドキュメンテーション Web サイトでは、ダウンロード可能なマニュアル、ソフトウェア、ツールなどのオンラインリソースを提供しています。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	<a href="http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html">http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</a>

## Cisco Networking Service 拡張結果メッセージの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを

示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェアリリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: Cisco Networking Service 拡張結果メッセージの機能情報

機能名	リリース	機能情報
Cisco Networking Service 拡張結果メッセージ	Cisco IOS XE Release 3.8S 12.2(33)SRA 12.4(4)T	Cisco Networking Service 拡張結果メッセージ機能は、部分設定の完了後に Cisco Networking Service イベントバスに送信された Cisco Networking Service 結果メッセージに加えて、2つめの Cisco Networking Service 結果メッセージをサブジェクト「cisco.cns.config.results」に送信します。  この機能により、 <b>cns config partial</b> コマンドが変更されました。

